

## 「24 年前のワープロ復活 (2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

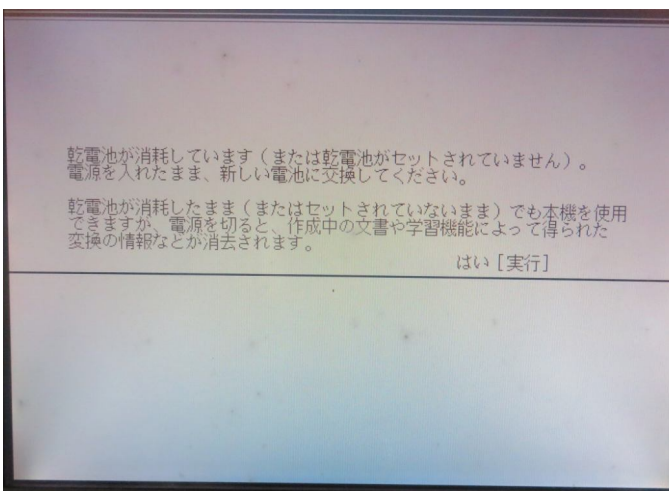
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

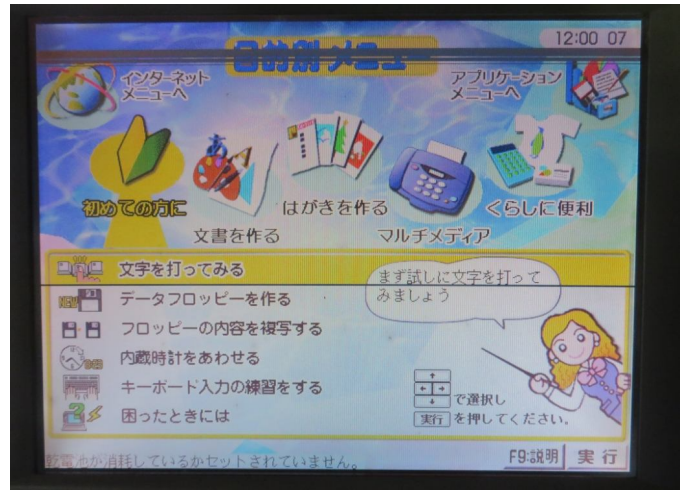
しばらく使っていなかった「もの」に再会すると、不思議なことに、それを使っていた頃の自分の姿が思い浮かぶものだ。このワープロとの再会もそうだった。これを使っていたのはまだ自分が三十代の頃で、当時は足立区に購入したマンションに住んでいた。その一室で、確かにこれを使っていた記憶がよみがえった。



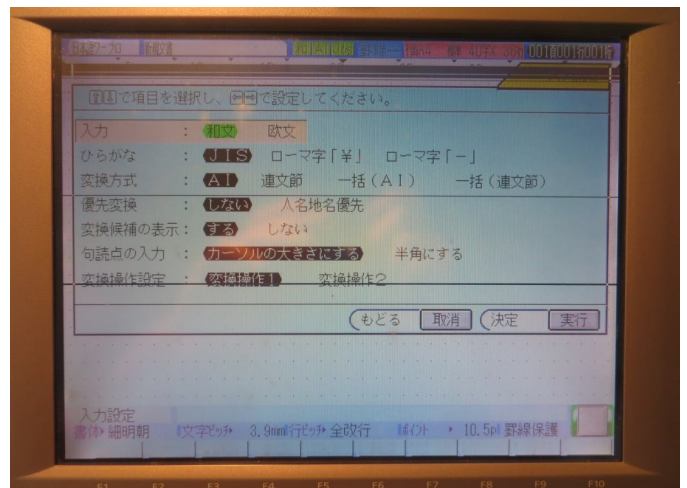
側面の別の蓋を開けると、電話の端子もついている。そうだった！これでファクシミリの送受信や、音声通話、それに当時普及し始めたインターネットやメールもすべてしていたのである。



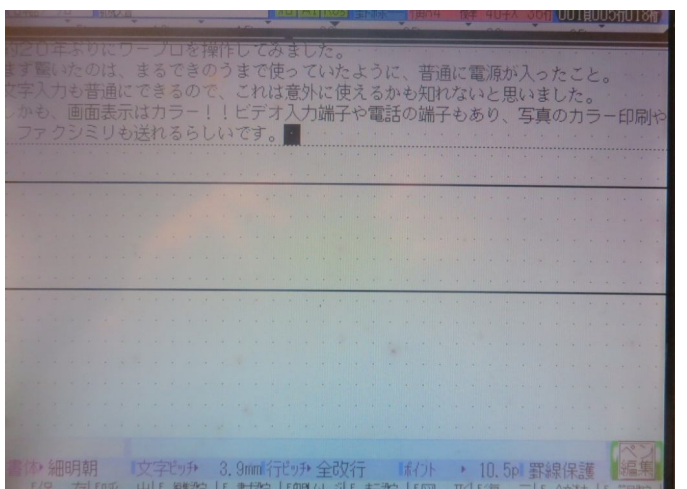
20 年以上電源も入れていないので、無理かも知れないとは思ったが、電源コードをつないで、恐る恐るスイッチを ON にしてみた。すぐにモニターのバックライトが点灯し、こんな文字が表示された。



「実行」を押すと、こんな画面が現れた。それも、驚いたことにカラー表示である。まるで購入したばかりの新品を起動した時のような初期画面である。



これはワープロなので、文章を打ってみることにした。今の「ワード」や「一太郎」と同じように、さまざまな入力モードがあって、選べるようになっている。



キーボード配列も今と同じなので、文章は普通に入力できた。キーボードも内部の電子機器も完全に正常に稼働している。ただそれだけで、感動してしまった。